

人類は月面に基地をつくる

—月面基地が完成すれば、月への移住が始まるかもしれない—



★演題

月探査の未来へ

～202X年、日本人月に立つ?～

実は今、月が様々な理由で注目されています。2020年代には日本人が月の表面に足跡を記すかもしれません。これから月探査はどうなっていくのか。最新情報と共に考えていきます。

開催日時: [令和元年]

11月30日★

©JAXA

★講師
寺蘭 淳也 先生

プロフィール

寺蘭 淳也 (てらその・じゅんや)

会津大学 企画運営室
(兼) 先端情報科学研究センター(CAIST)准教授

名古屋大学卒。東京大学大学院博士課程中退。宇宙開発事業団、宇宙航空研究開発機構、(財)日本宇宙フォーラムを経て、現在会津大学企画運営室および先端情報科学研究センター准教授。専門は惑星科学、情報科学。月・惑星探査を中心とした情報システムの構築などを専門としている。また、月・惑星探査の普及啓発などにも努めている。著書は『夜ふかしするほど面白い月の話』(PHP研究所、2018年)、『宇宙探査ってどこまで進んでいる?』(誠文堂新光社、2019年)など。

😊お問い合わせ / 申し込み先

📅 申し込み期間: 11月1日(金)～11月29日(金)

📧 申し込み方法: [インターネット] または [電話] ☎32-7600 まで (定員に達し次第締め切らせていただきます。)

★インターネットご利用の方は松本市教育文化センターホームページ内の専用リンク先からお申込みください。

松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺2930-1 ☎32-7600 ※休館日は月曜日(祝日の場合は、翌日)

松本市教育文化センター

宇宙関連事業講演会

開場 13:00

講演 13:30～14:50

定員 160名(先着)

会場 松本市教育文化センター
視聴覚ホール 3F

主催: 松本市教育委員会